

令和5年度 第2回

苫小牧市防犯のまちづくり懇話会開催結果

日時：令和6年3月26日（火） 15：00～16：20

場所：苫小牧市役所 9階 91会議室

出席委員：山端委員長、松村副委員長、大西委員、佐藤委員、高林委員、谷澤委員、
西野委員、藤委員、松平委員

欠席委員：樫野委員、柳田委員、渡邊委員

市側出席：野見山市民生活部部长、畑島市民生活課課長、本田市民生活課課長補佐、
野田市民生活課主査、池淵市民生活課主査(再)、手代木指導主事

◎開催概要

- 1 開会
- 2 市民生活部部长挨拶
- 3 委員長挨拶
- 4 協議事項
 - (1) 令和6年度 苫小牧市における防犯施策の取組について
 - (2) 小学校の開錠について
 - (3) 事前アンケートに係る報告・回答
- 5 その他

◎要旨

【4協議事項(1)「令和6年度苫小牧市における防犯施策の取組について」】

(委員)

防犯カメラの設置ってというのはどのような基準で進めていらっしゃるのか。

(市回答)

防犯カメラの5カ年の計画について令和2年度から6年度までの計画ということで進めております。基準としては、市内の交番の中で取り扱っている犯罪の認知件数が多いところをピックアップし、その計画を立てた当時に多かったとことというのが、錦岡、糸井の2つの交番が比較的割合的に多いということで、このエリアを重点的に整備することになりました。そこからさらに子どもが集まりやすいところ子どもがよく通るところということで、そこから絞り込み、公園ということでエリアを限定して設置をこの5年間で進めていったという経過がございます。それに合わせて予算的に余裕がある場合に、プラスアルファということで進めております。まずは6年度まではこのような形

ということで進め、次回の計画策定の時に考え方を整理していくというような考え方になります。

(委員)

令和5年度の防犯施策の取組の検証結果はどこかにあったりしますか。

(市回答)

5年度の実績、内容についてはこれから各担当課で実績等を収集しまして、次回の懇話会でお示しをさせていただくということをお願いしたいと思います。

(委員)

計画について、途中で変更は可能なのでしょうか。

(市回答)

計画を随時変更するというような考え方には現状なっていません。社会性の強い事件が起こるとかそういったところで、防犯に対する取り組み、認識が変わるようなきっかけがあれば、そこは見直しといったところをかけていかなければならない可能性はあります。次の計画を策定するにあたっては、その辺の計画期間内でどのような対応をとるのかというところ少し明確にしておきたいと思います。

(委員)

苫小牧市の防犯防災のメールに登録していますが、Yahoo!という見出しで苫小牧市内の犯罪通知がきたり、同時に警察の方のホクト君メールでも来るのですが、これらについてどちらで来てるのかわかりますか。

(市回答)

ホクト君メールの発信元は北海道警察本部で、市の方は警察、各学校の方に報告があがったものを市の担当部署に報告があがって配信しています。市の方の情報も警察の情報が、メインの情報になるのかと思います。

(委員)

市民の皆様にも、例えば防犯防災メールの件数を何件増やしていこうという目標はありますか。

(市回答)

市の防犯の情報発信についてはフェイスブック、それからLINEの方を使っております。万引きや不審者の登場から色んなものがある中で、これをすべてプッシュ式で皆さんにお伝えするというのもどうかということで、例えば窃盗集中して発生するあるいは市内中心部で刃物を持った人間を見たなどの通報、こういう危機が高いというような選別をいたしまして、そういったものはプッシュ式で、フェイスブック、LINEで送信しています。

(委員)

そういう重要なものは全市民の携帯電話に届くようになっていきますか。

(市回答)

ただ、市の方の設定が登録されて、なおかつ情報の選択ができ、その中で防犯というのをチェックしていると、その情報が表示されます。受け手の方が、防犯の情報のチェックを外してしてありますと、私たちの情報が届かないそういう仕組みになっております。

(委員)

防犯ではないと思いますが、鹿のことについて、先日、夜8時ごろ自宅の前に車で着きましたら鹿の親子が目の前にいました。恐ろしくて車から出られなくて、電話で家にいる人を呼び出して出てきてもらってから車庫入れして家に入りました。町内会長に次の日情報提供としてお電話しましたら、西部の方は今、鹿が多数出没しており、特に公園には毎晩のように来てるというお話を聞いてびっくりしたんですけれども、こういう対策っていうのは市のどこで行っているのでしょうか。

(市回答)

鹿に限らず動物に対して市としてやっているのが環境生活課となります。年々鹿の出没が増えておりますが、市単独で捕獲することが難しく、事業者や北海道の方と連携を取り計画的に捕獲しております。それでも、実情としては追いついてはいないというところ です。

(委員)

私が遭遇したのが生活道路で通学路です。どうにかして欲しいというよりもこういうことがあったと市に連絡しておく必要があるのかなと思います。その辺いかがですか。

(市回答)

気になった情報を寄せていただくというのは大事だと思いますので。そういった情報があれば、市の方に寄せていただければ直ちに対応しなければならない場合と少し様子を見なければならない場合と対応は変わってくるのかと思いますので、よろしく願います。

(委員)

1ページの犯罪情報の提供というところなんですけれども、郵便局の方に掲示するだけでは見る人も中々いないと思うので、持ち帰り用の資料やパンフレットのコーナーに置いたりしたらどうでしょうか。

(市回答)

郵便局と連携協定ということで様々な事業に協力してもらっている中で、具体的にはA4判で出している防犯だよりをA3判に拡大をしまして大きく目につくような形で掲示していただくようお願いしております。防犯だより自体も10枚程度お渡ししまして、配布するコーナーに置かせていただいているところです。配布枚数が足りているか、足りていないかを今度郵便局の方にも足りないというところにはお配りして、なるべく多くの人に届くように改善していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【4 協議事項（2）小学校の開錠について】

（委員）

今の回答の保護者からの要望は無いということですが、私の知り合いの方は市議会議員さんとかに言って情報を出しているということだったので、まだ耳に入っていないだけなのかなと思います。要望がないわけではないということです。

（市回答）

学校で届いているところはあるかもしれませんが、市教委の方には今のところ届いてはおりません。市の方で取りまとめているわけではないので。

（委員）

早い時間に投稿する生徒に合わせた体制をとることよりも児童生徒が決められた時間に登校いただくことが重要ということですが、子どもがその時間に行きたくても、親から行きなさいという感じで出されちゃうとそれが出来ない。

苫小牧は鹿が多いですし、熊とかも時期によっては出たりして、そういう被害があつてからでも遅いので、どうかならないものかなと思います。先生の勤務が決まっているなら前倒というか 30 分早く始まるなら 30 分早く終わらすという感じで。

（市回答）

始業時間をずらすということは、授業時間を早くすることになってくるので、それは難しい。

（委員）

学校によって時間は色々なかもしれないけれど、何時から何時が先生の勤務時間が決まっているのか。

（市回答）

そこは決まっています。8時から16時30分ですね。

（委員）

授業時間は動かさなくても、いいと思いますが。

（市回答）

15 時くらいまで授業がありますので、30 分勤務を早くして、終わりを 30 分繰り上げたとして、授業時間を変えないと授業から終わりまでの時間がなくなるので、そうすると会議が出来なくなったり、先生方の時間が無くなる。

（委員）

勤務時間は、会議を含めた時間ですか。

（市回答）

そうですね。勤務時間は、会議を含めた時間となります。学校ごとで状況は違います。そういった場合は今コミュニティスクールとかを各学校設置してやっておりますので、そこでまず学校地域の声を吸い上げて、地域の手を借りながら子どもたちを見守るとい

うところが可能かなと思います。一律にやっていくというのは中々難しいかなと思います。

(委員)

まずは市としてどのくらいの方がどの地域で困ってらっしゃるのかを把握していただくのがまず先かなと。勤務時間ずらしたらとの言葉にも一理あって、全教職員が前倒しじゃなくて例えば、シフト制、当番制みたいな一人いれば済むことですよ。

(委員)

今回の回答をみると保護者からの要望は無いという前提で回答が成り立っているの、最初から何も調査もなくただこの一言でもってすべて終わらせているのかなと。厳しくて申し訳ないが保護者からの要望は無いという前提が崩れれば、回答も変わるはず。実態調査をどこまでやったのかというところだと思うが、そこはどうか。

(市回答)

今回の件でということではないですけども、開錠時間に係る調査については各小学校に聞き取りをしている状況ですね。その中で、特に保護者から時間を変えてくれという要望は来ていないと認識しています。

(委員)

その調査の中では、時間前に校門で待っている子どもたちの情報も入ってこないということですね。

(市回答)

待っている子はいると思います。

(委員)

そこら辺の調べはしていないということですか。

(市回答)

何人かまでは調べていないですね。

(委員)

人のやりくりとかは働き方改革とか色々と言われているからで難しいとは思いますが、この回答だけ見ると要望は無いということだけが前面に出ている、そこだけ疑問を持ちました。何かいい方法があるように考えてもらえればと思います。

(委員)

私も小学生の息子がいて、たまに早くいったときとかそういった時に並んでいます。ただ、日によって違い、4、5人しか並んでない日もあれば30人以上並んでいる日もある。子どもとしては早く並ぶことがうれしいらしいが、教師にとっては迷惑な話じゃないですか。そこをどうやって親御さんに伝えるかというのが大事だと思うんですよ。それと同時に親御さんの都合で早く来ざるを得ない子も一定数います。その中で教員の方たちを時間ずらすことをシフト制に分けるというのは中々難しいっていうのはわかりますので、素人ながらに思いますが、例えば用務員の方のシフトを30分ずらして一か

所だけ開けておいて用務員の方が立っていて生徒だけ入れていくとかです。ね。そんな方法とかはできないかなと思いました。

(市回答)

開錠をしている学校っていうのはいくつかありますが、公務補が子どもたちの見守りをするっていうのが、本来の公務補としての責務なのかと問われると難しいと思います。公務補は公務補としての仕事があるということなので、子どもたちの面倒をみるとか守るのは先生のごとでしようという方もいらっしゃると思うので、そこも一律に公務補が30分繰り上げて出勤させていうのも中々難しいと思います。

(委員)

待っている人数はまちまちで、実態調査自体が難しいと思います。年間を通じた実態調査やってもらうとして、先に何があるのかと思いました。それで各家庭の都合もあって早く来てしまった子が心配だから先生たちのお心でボランティアという感じでやっていたら先生方もいますけれども、公務補の方とかも30分早いんですよ。普通の職員よりも、だけど責任も出てきますよね。そうなったときに、業務上超えた責任が来てしまった時に公共の施設ですから困ると思います。

海外の事例ですと、そこで地域が活躍します。見守り隊！！をやっている方とか、朝立ってくださっている方が地域でそういうニーズがある子どもたちを把握できるんですね。そこで地域の方たちと学校が連携していただいて、校門前で見守りをお願いするという、今までは通学路とか横断歩道とかの見守りがメインでずっと何十年もやってきたと思うんですけれども、その学校の敷地内の見守りというものもお願いしたら、それは可能なんじゃないかなと、それこそコミュニティスクールですか、京都とかでも朝も夜も学校敷地内も見守りしているといった例もありますので、苦小牧でもできるんじゃないかなと思いました。

(委員)

今日の回答を見ると、学校はできませんということですよ。文部省からの通知があるので、学校外のことだからできませんということで、最後は保護者や地域の手を借りながらと回答は出ています。まあ、教育委員会も同様の見解だろうと思うので、ただ、どっかで皆が歩み寄っていかなかったらこの問題は現状のままずっと早く来る子供がいる状態が続く、何もなければいいけれども万が一なんかあったときにやはり後悔することになる、そういう問題だろうと思うのでどうやってそういう子ども達を解消できるような方法があるのかという点でもう少し行政の方も例えば地域や保護者の手も借りながらもという、今後の問題ではなくて、今動き出してもらいたい。

(市回答)

委員のおっしゃる通り、コミュニティスクール等を活用しながら、学校として何もできないわけではなくできる範囲の中で、子ども達を見守るということはやっていっていますし、学校課題として登校時の子どもたちの様子といったことがあがってきたときには

コミュニティスクールで議題を出してじゃあ、そういったところ対策どうしましょうか、地域の方にお聞きしながら「地域としてもこういうことできるよ」ということを学校の中でそこをすり合わせながら、やっていきますので、そこはほんとに学校がどう考えるかになりますので、そういう必要性があったときには積極的に声を掛けて発信して、やっていきたいです。学校運営の事にもなってきますので、一概にこれをどこの学校でもやりますとは中々言い切れないところはあります。

(委員)

開錠している学校って話をしておりましたよね。開錠している学校については待っている子どもたちがいなくていいので、その辺のところの判断についてはそれぞれ学校の判断によってやっているところと、やっていないところですか。

(市回答)

開錠について7時50分に開いてる学校や45分に開けている学校はございます。

(市回答)

開錠の時間が全部の学校で一律になっていません。8時に開錠を開始しますよという学校もあれば7時45分から開錠しますよという学校もあって学校の方である程度子どももの来る時間に合わせて開錠時間を決めているイメージです。

(委員)

そうすると待っている子どもたちがたくさんいるところは開錠時間を変更することが可能ということですよ。実態に合わせるということだから。

(市回答)

開けている時間帯も学校によって差があると思われまして。20分間開けている学校や30分間開けている学校があったり、おそらく生徒の人数とかにもよるとは思いますがそこは学校単位で調整できるものなのかはこの場でお話しできないものですが。

(委員)

たくさん生徒さんがいる学校については変更できる可能性があるということですか。実態にあわせて決めるということは。

(市回答)

そこは学校がどう判断するかですね。

(委員)

教育委員会の方から学校の方にアプローチすることは可能ですか。

(市回答)

そうしますと、話は戻りますけれども教員の働き方改革というところの視点で見るとなかなか難しい。

(委員)

開錠時間についても出勤時間に合わせた開錠しなさいとそれが文部省からの通達の趣旨なんですよ。教育委員会としてもそういう方向に従わざるを得ませんと、学校に

もそういうことを徹底しなさいよということですよ。今は学校の判断で若干早く開けている学校もあるけれども、今後は一切そういうことができなくなるということですよ。

(市回答)

学校で判断しているので、善意の部分もあります。そこは学校が決めるところなので8時から勤務でも7時45分から開けている学校もあります。そこは市教委としてじゃあ、何時からにしましょうとは言えないです。

(委員)

学校に任せる部分はあるということですね。学校の先生方も大変だと思うけれども、そういうような実態があったときにどのくらい早くに開錠できるのかということを経済委員会としても学校の側と相談して、こういうような実態があるからどうなのかということか方向性ができればそれが保護者にも連絡することができるし、またほかの学校とも参考になるのではないかと思う。全部の学校かはわかんないけど、特に早く来ているなという学校については抜き出してもいいから学校と少し相談して、現在の状況だとか、そういうものを把握してもらったうえで学校としてどこまで対応できるのか、できないところはどのようにするのかというような対応について動き出してほしい。

(委員)

10年以上前の話なんですけれども拓勇小学校で、それこそ先生方の気持ちで雨が降っているから早く開けてあげたときに、カッターで指を切ったとかの事故があったんですよ。そうなったときに開錠前の時間の話になって責任の所在が無くなるという事例がありました。歩み寄ってのところに学校と保護者だけでなく、そこに地域も入って行って歩み寄っていくのがいいのかなと。色んな実情があるのはわかりますけれども登校時間を決まった時間に合わせるのを努力するっていうことも社会の中では大切なことの一つだと思います。

(委員)

こういうような実態がある学校については学校側と保護者とPTAとそれから地域の見守りをやっている人を含めて関係者集まって相談して、ここまでだったらできるとかそれぞれが検討してもらえればよいと思う。誰かがこういうことを相談しようと言わなければだめなんです。次回の会合でいいからどんなところまでどういう話になっているかを含めて検討していただければありがたい。

(市回答)

今日ここで結論がでる状況ではないですし、その教育委員会として一定の考え方をもちまして本日ご回答をさせていただいております。その中で今日いただいた委員の意見に対して、今後教育委員会でどういったことができるかというところを一度調整してもらうことになろうかと思っております。次回その回答が平行線になる可能性も十分ありえますし、その協議の結果、教育委員会の考え方というものも整理をさせていただくことで、

この場は一旦預からせていただくとのことでよろしく申し上げます。

(委員長)

【4 協議事項（3）事前調査案件に関する報告について】

質問なし